

かけはし

令和5年度 富士市立今泉小学校
—学校教育目標— 10月号
「やさしく たくましく」

前期の終わりを迎えて

校長

9月に入っても日中はまだまだ暑い日が続いています。養護教諭がこまめにWBGT（暑さ指数）を計測し、体育の時間や休み時間の活動に気を配っています。指数が28を超えると「嚴重警戒」、31を超えると「運動は原則中止」です。9月初旬は午前中早いうちから指数が31を超える日もあり、体育や休み時間の運動を制限して対応してきました。運動場で活動ができないことを知らせる「赤旗」を見た子供は、休み時間に外で遊べず残念そうでしたが、室内で上手に過ごしてくれました。それでもこの頃は、朝夕に空気の冷たさを感じられたり、トンボを多くみるようになってきたりと、秋の気配を感じるようになりました。

令和5年度の前期も、あと2週間ほどで終わります。新しい学年になり意気揚々と臨んできたこの半年間、お家の方から見て、お子様の成長の様子はいかがだったでしょうか。9月27日からの教育相談では、主に学校での様子を担任からお伝えします。成長を感じられる点、さらに伸ばしたい点など、保護者の皆様と担任とで共有をしていただき、前期での頑張りをほめ、後期に向けてお子様を励ましていただきたいと思います。

さて、「ほめる」という話をしたところで、私が以前Web上で見つけた興味深いお話を紹介します。この話は、アメリカにおいてAI（人工知能）の研究が進み、実用化の効果が発表されたことに対する内容です。枠中が引用文です。下線は注目するポイントとして私が引きました。

人が人と向き合い生活し、人の考えた言葉でコミュニケーションをとって学んでいく学校においては、人間の言葉の力の方が大切なような気がします。

人が使う「言葉」の魔法のような話題も発表されました。アメリカのスタンフォード大学の心理学者たちが、小学校5年生400人余りを対象に行った実験は、とても興味深い結果になったと言われています。

『まず、子どもたちに簡単な図形のパズルの問題を与えます。そして、テスト終了後に子どもたちにテストの点数を伝え、褒めます。成績内容に関わらず一人一人の子どもを褒めるのです。半数の子どもには、「あなたは、頭がいいね」と、子どもの“賢さ”を褒めます。残りの半数の子どもには、「一生懸命やったね」というように、子どもの“努力”を褒めます。この2群は、成績が均等になるようにランダムに選定します。

その後、今度は子どもたちに2種類のテストを与え、どちらでも好きな方をやりなさいと伝えます。一方は、最初のパズルより難しいけれど、やればとても勉強になるパズル、もう一方は、最初のものと同じように楽にできるパズルです。

“賢さ”を褒められた子どものほとんどが、楽にできるほうを選びました。その一方で、“努力”を褒められた子どもの9割近くが、難しいパズルにチャレンジしました。努力を褒められた子どもは、さらに努力を認められるようにと難問にチャレンジするのですが、賢さを褒められた子どもは、自分を賢く見せるために、間違うのを恐れるようになるというのです。』

ほめるという点では同じでも「何をほめたか」によって子供の成長が変わるというのです。これからも子供たちには、すこやかな成長をうながす言葉、意欲を育む言葉を浴びせていけるように努めてまいります。

11月のおもな予定

おたよりをマチコミで配信します

学校からのおたよりを電子媒体で管理したいというお声がありましたので、10月号から学校だより・給食だより・献立表は、紙媒体での配付はせず、マチコミで配信することになりました。

不都合がある場合は、教頭(52-2011)までお知らせください。個別に対応させていただきます。

体育着の素材・価格改定について

長く愛用してきた本校の体育着が廃版になるため、来年度からそれに代わる製品が納入されることになりました。

新しい体育着は、ポリエステルと綿混合の素材を採用した、吸汗に優れたものになります。価格は未定ですが、若干現行のものよりも高くなる予定です。教育相談期間中に、事務室前に試作品を展示しますので、実物をご覧になりたい方は、ぜひお立ち寄りください。



お待たせしました！ 10月10日からホームページが新しくなります

外部からの攻撃を防ぎ、安全に情報を扱うことができるようになるまで更新を見合わせていたホームページですが、このたび市内全小中学校のページが、富士市のウェブサイト内に入り強固なセキュリティのもと、更新できることになりました。

再開後は、より安全に、そして伝わりやすい記事となるよう管理

していくため、以前のような更新頻度を保つことはできなくなりますが、本校の教育活動を発信する場として有効に活用していきたいと考えております。

ぜひ10日以降に、富士市トップページから本校のページにアクセスしてみてください。



「子ども若者★いけんぷらす」始まる

子ども家庭庁が、小学1年生から20代までの「ぷらすメンバー」に登録した子供・若者が、自分の意見を国の省庁に伝えたり、施策に関する情報を取得して企画や運営に参画したりする取組をスタートしました。詳細は子ども家庭庁のホームページで確認してください。

